

かしの木

● 第23号 ●

社会福祉法人
せたがや檜の木会
機関誌第23号
2018.7月発行

平成三十年度を迎えて



理事長 岩井 雄一

日頃より「せたがや檜の木会」に対しましてご支援ご協力を賜りありがとうございます。ありがとうございます。

今年度は、本法人の母体である世田谷区手をつなぐ親の会において、新会長のもとに新たな役員体制が総会で承認され、これまで以上に事業が充実されることと思えます。

本法人においても、これまで以上に連携を図りつつ社会福祉法人としての役割を果たしていきたいと考えております。関係の皆様におかれましては引き続きご支援をよろしくお願いたします。

現在、我が国は超高齢社会といわれ、福祉事業の充実を図るための施策が打ち出されておりますが、一方で見直しも進んでいます。障害者支援に関し

ても障害の重い方に厚く、障害の程度の軽い方への支援は薄くしていく傾向があります。今年度は、私どもが運営している福祉事業の報酬改定の年となっており、各事業所における人事体制や研修制度、工賃による加算制度の変更などにより予算編成は厳しい状況にあります。このような状況を踏まえて、各事業所並びに法人として、経営状況を好転できるような努力しつつ、新たな事業展開も可能な体力をつけていけるよう事業の推進を図ってまいりたいと思えます。

関連する国の動きとしては、文部科学省と厚生労働省が連携をして取り組みを進めている事業があります。一つは、障害者の生涯学習の推進です。これは、障害のある人に対しても生涯学習の在り方について充実を図るものです。現在文部科学省生涯学習政策局に障害者学習支援推進室を設け、厚生労働省はじめ関係の機関と連携を取りながら障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実についての施策が検討されているところです。本法人においても生涯を通じた学びという視点を持ちつつ活動の充実を図っていきたく考えます。

二つ目は、文部科学副大臣と厚生労働副大臣が中心になり立ち上げた家

庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクトです。教育委員会や福祉部局が主導し、支援が必要な障害児及びその保護者が地域で切れ目なく支援が受けられるよう、教育と福祉のより一層の連携を推進するものです。すでに個別の支援計画の活用により情報共有・連携強化を図り切れ目ない支援を行うことなどの方策が報告として示されました。本法人においても児童発達支援、放課後等デイサービスや受け入れに向けた実習や入所者に関する引継ぎなど関係機関との連携に努めていきたいと考えます。

(※詳しくは関係のホームページ等ご参照ください。)

現在法人内では、職員の人材確保に苦慮しております。募集をしてもなかなか応募状況が芳しくありません。人材育成のための研修制度や厚生制度などの充実を図り、働きやすい職場づくりを目指しております。今後ともご支援をよろしくお願いたします。



就任にあたって



事務局長 木谷哲三

初夏の訪れを感じる季節になりました。本年四月より安齋事務局長の後任として事務局長に就任しました木谷哲三です。どうぞよろしくお願います。

私は今から四十年前前の区役所入所の年に初めてできた障害福祉課に配属され、以来障害者福祉をベースに総合福祉センター開設などの区初めての福祉総合計画、梅が丘ふれあいのあるまちづくりや、区民成年後見制度などに係り、最近では区立特養上北沢ホーム施設長やホームヘルプや訪問看護ステーションに携わってきました。

その中でも十五年前は区の障害者福祉施設サービス課長として、玉川福祉の法内化、駒沢・九品仏生活実習所の民営化、奥沢福祉園の開設、用賀福祉の移転など施設の民営化や指定管理を行い、親の会・檜の木会や育成会、

武蔵野会の皆さんと大いに盛り上がった楽しい記憶がございます。

さらにそれ以前の楽しい記憶は、なんといつても手をつなぐ親の会の活動と民営福作白梅とのお付き合いです。第三白梅が下馬福祉工房に展開していくように、喜多見、第四白梅（上町）、奥沢、大原と、世田谷区の知的障害者福祉は行政と親の会の二人三脚で進んできました。そうした渦中に折に触れてご一緒させてもらった記憶が、今の私のアイデンティティに大きく作用しています（世田谷区手をつなぐ親の会創立五十周年記念誌参照）。そうした思いを募らせている折に、

親の会の上原前会長から「そろそろどうですか」とお声をかけていただきました。三月末の評議員会で事務局長就任をご承認頂き本当に感謝の念でいっぱいです。せたがや檜の木会は親の会だけではなく暦年の区役所の障害者福祉関係者の思いが結実した法人でもあります。親の会と区役所が二人三脚で地域の知的障害者福祉を前進させていくという世田谷らしい特色を叶えるために、その先兵たる社会福祉法人せたがや檜の木会の活動の未来を描き残すために最後のひと踏ん張りをしていきたいと思えますので、どうかよろしくお願います。

退任にあたって



前事務局長 安齋俊彰

平成二十八年四月一日に、せたがや檜の木会に事務局長として着任以来、大変お世話になりました。力不足で、法人や職員の皆さまのお役にあまり立てなかつたことが心残りですが、新任の木谷事務局長は、高齢、障害福祉分野に大変精通しておられる方ですので、安心してあとを託して参りたいと思います。

今後のせたがや檜の木会の益々のご発展を祈念し、お別れのご挨拶いたします。二年間誠にありがとうございました。



どんぐりライフ



どんぐりホーム上町 所長 紀平訓江

せたがや檜の木会に勤めるようになって十年目になる年に、どんぐりホーム上町の施設長の命を頂きました。この国でグループホームの制度が始まった頃から機会があったらグループホームの仕事に携わりたいと思っていましたので、どんぐりホーム上町準備室から運営に関わらせて頂けたことをとても嬉しく思っています。

どんぐりホーム上町は開所から三年目を迎え、五名の利用者さんと『少しずつホームの生活に慣れていきましよう』を支援目標に、ご家族の中で過ごしていた生活から五名の仲間と世話人さんと短期入所利用者との、毎日違った環境の中の生活を送っています。ある日は賑やかに、またある日は静まり切ったホームでの生活の中で、毎日の食事、入浴、洗濯などご自身で行う

ことはすぐに慣れることができましたが、週末の予定を決めたり、衣替えやお部屋の整理整頓をしたり、体調が悪いつどうしたらよいかなど、ご家族が担ってきたことを職員の支援を受けながら自分で決めて行動していくのはなかなか難しいことです。生活の中の小さな事柄も「自分で決める」ことを大切にして、どんぐりホーム上町を我が家にしていってもらいたいと思っています。

移りゆく景色



わくわく祖師谷 副施設長 亀谷美由起

「初めまして」「お世話になります」「お帰りなさい」「またよろしくね」、そんな挨拶で新年度がスタートしました。感慨に浸る間もなくライブは始まり、生き生きと毎日が過ぎていきます。

平成二二年九月、わくわく祖師谷の立上げ要員として入職し、間接的ではありませんでしたが、利用者の方々の関わりに喜びを感じながら事務室でパソコンに向かう日々でした。

平成二五年七月、本部事務局に異動となり、利用者支援に真摯に向き合う職員の方々が働きやすい職場となるよう、法人全体を見渡せる場所で様々な課題に取り組みさせていただきました。

そして平成三〇年四月、大野施設長の補佐役として、わくわく祖師谷に戻

ることとなりました。利用者の方々の落ち着いた振舞いに月日の流れを感じます。

この間、見える景色は移り変わっていききましたが、いつもありのままの存在で、変わることなく受け入れて下さる利用者の方々に支えられて、この場所に立っていると感じます。巡り会いに感謝の意を込めて、利用者の方々が地域の一員としてさらに自分らしく生きられる場所となるよう、そして私たち職員も生き生きと輝ける場所となるよう、できることを一つひとつ積み重ねていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

皆が「わくわく」する場所に

わくわく祖師谷 生活介護主任 徳田智子

二十年間お世話になった思い出深い用賀福祉作業所を離れ、四月からわくわく祖師谷の生活介護に配属となりました。新しい場所に来て、久しぶりに就職した当初の気持ちを思い出ししています。

B型の施設から生活介護への異動という事で、今までいた所とは全く違った環境の中に飛び込む事になったわけですが、職員の皆さんのサポートと利用者の方達の笑顔と優しさに支えられながら、楽しい発見と挑戦がたくさん充満した日々を過ごしています。また、ご家族の皆様にも温かいお言葉をいただき感謝しております。

赴任してまだ日が浅く、まだまだ学ばなくてはいけないことが多くありますが、今まで培ってきた経験を活かしつつ、わくわくのB型とも連携を取りながら支援を行っていききたいと思えます。そして、わくわく祖師谷の生活介護に関わる利用者や職員の皆さんにとって「わくわくできる場所」となるお手伝いをしていきたいと思っています。

作品名

「ふなっしー」



作品名

「ウルトラマン」



作品名
「太陽に向かって」



『ひまわりの約束』の歌のように

大原福祉作業所
主任 高橋 里雄

珈琲やクッキーがとてもおいしい、大原福祉作業所の主任を務めることになりました高橋里雄と申します。よろしくお願ひします。

さて、大原福祉作業所は、来年度、守山小学校跡地に移転することになります。利用者の方と寄り添い、少しでも安心して移転を進めていけるよう頑張ります。また、拡大していく事業をどう展開していくか、利用者の方

やご家族と相談しながら、職員一同、協力体制で進めていきたいと考えています。

私は、利用者の方により豊かに、より幸せになっていただくために何ができるかということを大切にしたいです。また、今までもそうでしたが、利用者の方の、『ひまわりのような真っ直ぐなその優しさ』に、私自身、幸せを感じています。新たな出会いに感謝し、これからも、利用者の方と携わることが出来ることを喜びに、利用者の方から受けた『その優しさを温もりを全部』届けていけるよう頑張ります。

作品名
「私の愛用のカバン」



平成 29 年度 決算 報告 書

第三号第一様式

法人単位貸借対照表

平成30年3月31日現在

社会福祉法人せたがや桜の木会

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	260,521,643	236,092,425	24,429,218	流動負債	94,048,527	84,213,436	9,835,091
現金預金	183,708,132	160,959,392	22,748,740	事業未払金	10,707,767	9,925,958	781,809
現金	1,101,719	1,300,265	△ 198,546	その他の未払金	12,281,038	13,191,187	△ 910,149
小口現金	70,000	70,000	0	1年以内返済予定設備資金借入金	3,180,000	3,180,000	0
当座預金	760,306	770,920	△ 10,614	未払費用	29,270,200	21,108,229	8,161,971
普通預金	181,776,107	158,818,207	22,957,900	預り金	174,470	203,116	△ 28,646
事業未収金	68,833,010	67,323,246	1,509,764	職員預り金	2,243,389	1,413,022	830,367
未収金	3,247,875	3,402,553	△ 154,678	仮受金	330,000	330,000	0
未収補助金	423,791	301,992	121,799	賞与引当金	35,861,663	34,861,924	999,739
貯蔵品	1,042,704	1,344,244	△ 301,540				
商品・製品	921,480	823,372	98,108				
原材料	1,148,015	1,127,313	20,702				
立替金	263,641	331,501	△ 67,860				
前払金	421,600	400,000	21,600				
前払費用	321,646	78,812	242,834				
仮払金	189,749	0	189,749				
固定資産	419,331,407	415,058,203	4,273,204	固定負債	86,481,831	85,808,017	673,814
基本財産	215,410,254	224,309,107	△ 8,898,853	設備資金借入金	50,880,000	54,060,000	△ 3,180,000
土地	36,231,750	36,231,750	0	退職給付引当金	35,601,831	31,748,017	3,853,814
建物	179,178,504	188,077,357	△ 8,898,853	負債の部合計	180,530,358	170,021,453	10,508,905
その他の固定資産	203,921,153	190,749,096	13,172,057	純資産の部			
建物	12,743,216	13,354,021	△ 610,805	基本金	55,841,950	55,841,950	0
構築物	3,350,666	3,781,971	△ 431,305	基本金	55,841,950	55,841,950	0
機械及び装置	1,524,251	305,892	1,218,359	国庫補助金等特別積立金	110,290,189	112,849,763	△ 2,559,574
車両運搬具	7	7	0	国庫補助金等特別積立金	110,290,189	112,849,763	△ 2,559,574
器具及び備品	6,587,780	6,711,070	△ 123,290	その他の積立金	145,982,546	133,251,186	12,731,360
権利	76,440	76,440	0	人件費積立金	63,750,593	63,750,593	0
退職給付引当資産	35,601,831	31,748,017	3,853,814	事業推進費積立金	16,721,513	15,950,593	770,920
人件費積立資産	63,750,593	63,750,593	0	修繕積立金	35,250,402	24,450,000	10,800,402
事業推進費積立資産	16,721,513	15,950,593	770,920	備品等購入積立金	10,260,038	9,100,000	1,160,038
修繕積立資産	31,850,402	24,450,000	7,400,402	施設整備等積立金	20,000,000	20,000,000	0
備品等購入積立資産	10,260,038	9,100,000	1,160,038	次期繰越活動増減差額	187,208,007	179,186,276	8,021,731
施設整備等積立資産	20,000,000	20,000,000	0	(うち当期活動増減差額)	20,753,091	20,934,874	△ 181,783
差入保証金	1,351,500	1,351,500	0	純資産の部合計	499,322,692	481,129,175	18,193,517
長期前払費用	102,916	168,992	△ 66,076	負債及び純資産の部合計	679,853,050	651,150,628	28,702,422
資産の部合計	679,853,050	651,150,628	28,702,422				

法人単位事業活動計算書

第二号第一様式

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

社会福祉法人せたがや櫻の木会

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	142,536	39,054	103,482
	就労支援事業収益	47,485,783	46,037,420	1,448,363
	障害福祉サービス等事業収益	795,463,500	761,763,957	33,699,543
	経常経費寄附金収益	1,723,000	1,482,632	240,368
	サービス活動収益計(1)	844,814,819	809,323,063	35,491,756
	費用			
	人件費	581,570,953	566,868,807	14,702,146
	事業費	64,283,417	61,351,122	2,932,295
	事務費	125,632,118	107,681,854	17,950,264
就労支援事業費用	47,485,783	46,037,420	1,448,363	
減価償却費	11,966,938	11,275,091	691,847	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,348,796	△ 5,262,968	△ 85,828	
徴収不能額	24,577	0	24,577	
サービス活動費用計(2)	825,614,990	787,951,326	37,663,664	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	19,199,829	21,371,737	△ 2,171,908	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	390,472	412,732	△ 22,260
	受取利息配当金収益	13,419	15,955	△ 2,536
	その他のサービス活動外収益	1,791,807	2,906,893	△ 1,115,086
	サービス活動外収益計(4)	2,195,698	3,335,580	△ 1,139,882
	費用			
	支払利息	418,364	442,528	△ 24,164
	その他のサービス活動外費用	25,353	0	25,353
	サービス活動外費用計(5)	443,717	442,528	1,189
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,751,981	2,893,052	△ 1,141,071
経常増減差額(7)=(3)+(6)	20,951,810	24,264,789	△ 3,312,979	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	2,901,926	507,600	2,394,326
	特別収益計(8)	2,901,926	507,600	2,394,326
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	2	△ 2
	国庫補助金等特別積立金積立額	2,901,926	507,600	2,394,326
	その他の特別損失	198,719	3,329,913	△ 3,131,194
	特別費用計(9)	3,100,645	3,837,515	△ 736,870
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 198,719	△ 3,329,915	3,131,196
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	20,753,091	20,934,874	△ 181,783
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	179,186,276	160,601,402	18,584,874
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	199,939,367	181,536,276	18,403,091
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	5,000,000	△ 5,000,000
	その他の積立金積立額(16)	12,731,360	7,350,000	5,381,360
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	187,208,007	179,186,276	8,021,731

法人単位資金収支計算書

第一号第一様式

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

社会福祉法人せたがや櫻の木会

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	142,536	142,536	0
	就労支援事業収入	47,484,056	47,485,783	360,273
	障害福祉サービス等事業収入	800,878,018	795,463,500	5,414,518
	借入金利息補助金収入	390,000	390,472	△ 472
	経常経費寄附金収入	1,291,640	1,723,000	△ 431,360
	受取利息配当金収入	62,310	13,419	48,891
	その他の収入	1,870,513	1,791,767	78,746
	事業活動収入計(1)	852,481,073	847,010,477	5,470,596
	支出			
人件費支出	587,953,234	576,450,560	11,502,674	
事業費支出	71,817,284	64,283,417	7,533,867	
事務費支出	131,689,789	125,632,118	6,057,671	
就労支援事業支出	47,846,056	47,454,747	391,309	
支払利息支出	431,000	418,364	12,636	
その他の支出	0	25,353	△ 25,353	
流動資産評価損等による資金減少額	24,577	24,577	0	
事業活動支出計(2)	839,761,940	814,289,136	25,472,804	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	12,719,133	32,721,341	△ 20,002,208	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	3,252,920	2,901,926	350,994
	その他の施設整備等による収入	0	66,076	△ 66,076
	施設整備等収入計(4)	3,252,920	2,968,002	284,918
	支出			
設備資金借入金元金償還支出	3,182,000	3,180,000	2,000	
固定資産取得支出	3,807,320	3,464,534	342,786	
施設整備等支出計(5)	6,989,320	6,644,534	344,786	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,736,400	△ 3,676,532	△ 59,868	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	860,200	860,200	0
	その他の活動収入計(7)	860,200	860,200	0
	支出			
	積立資産支出	14,468,440	14,312,174	156,266
その他の活動による支出	0	117,779	△ 117,779	
その他の活動支出計(8)	14,468,440	14,429,953	38,487	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 13,608,240	△ 13,569,753	△ 38,487	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 4,625,507	15,475,056	△ 20,100,563	
前期末支払資金残高(12)	187,970,228	187,970,228	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	183,344,721	203,445,284	△ 20,100,563	

平成 29 年度寄付金等受領報告

平成 29 年度 下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。
深く感謝申し上げます。

ご寄付者氏名・団体名	金額
世田谷区手をつなぐ親の会 様	200,000円
社会福祉法人東京都共同募金会 様	1,500,000円
一般社団法人尚友倶楽部 様	190,080円
株式会社世田谷サービス公社 様	25,000円
大原福祉作業所 大原会 様	100,000円
喜多見夢工房 ファミリー会 様	100,000円
下馬福祉工房 下馬会 様	90,000円
用賀福祉作業所 家族会 様	185,800円
新藤 徹 様	100,000円
他、匿名の方々	21,200円

皆様の暖かいご寄付とご支援を心より感謝いたします。

社会福祉法人せたがや檜の木会
理事長 岩井 雄一

合計 2,512,080円

リーフレットによる寄付金報告

(平成 30 年 1 月～5 月)

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。
深く感謝申し上げます。

池田 瑞枝 様、岩永 隆男 様、上原 明子 様、上原 富士夫 様、金子 由美子 様、川口 和子 様、
河野 高昌 様、小橋 敏彦 様、佐藤 勝 様、下馬福祉工房 下馬会 様、庄司 恵美 様、新庄 瑛子 様、
染谷 栄一郎 様、田中 郁子 様、津村 匡洋 様、中原 容 様、藤井 宏栄 様、安田 生 様、
吉田 愛子 様、渡部 伸 様 他匿名希望 28 名様

五十音順

合計 48 名様

総額 522,348円 (手数料除く)

皆様の暖かいご寄付とご支援を心より感謝いたします。
いただいた寄付金につきましては、今後の法人運営に役立ててまいります。

社会福祉法人せたがや檜の木会
理事長 岩井 雄一



平成 30 年度 事業所祭り (上半期)

プレイ&リズム希望丘 第45回 希望ヶ丘団地夏祭り

平成30年7月21日(土)・22日(日)

14:00~21:00

上町工房・どんぐりホーム上町 Gland Summer Fes 2018

平成30年8月25日(土)

10:30~15:00

世田谷区立千歳台福祉園 第16回秋桜祭

平成30年9月15日(土)

10:30~14:30

大原福祉作業所 平成30年度秋まつり

平成30年9月22日(土)

11:00~15:00



職員人事のお知らせ

職員の異動・昇任(四月一日付)

どんぐりホーム上町

所長(昇任)

紀平 訓江

わくわく祖師谷

副施設長(昇任)

亀谷 美由起

わくわく祖師谷(生活介護)

主任

徳田 智子

大原福祉作業所

主任

高橋 里雄

相談支援センターあい

相談員

持田 理乃

新規採用

大原福祉作業所

支援員

横山 春香
(三月一日付)

下馬福祉工房

支援員

竹村 春南
(四月一日付)

わくわく祖師谷(B型)

支援員

長尾 浩志
(四月一日付)

わくわく祖師谷(生活介護)

支援員

上原 佳之
(四月一日付)

大原福祉作業所

支援員

大隅 実加
(四月一日付)

用賀福祉作業所

支援員

石井 梓
(四月一日付)

千歳台福祉園

支援員

山本 翼
(五月一日付)

定年退職

(三月三十一日付退職)

(四月一日付再雇用)

千歳台福祉園

事務員

用賀福祉作業所

支援員

堀部 英子
富山 明子

退職

本部事務局

事務局長

安齋 俊彰
(三月三十一日付)

大原福祉作業所

主任

横田 明生
(三月三十一日付)

大原福祉作業所

支援員

吉田 美幸
(三月三十一日付)

ヘルパーステーション榎の木

支援員

阿部 さおり
(三月三十一日付)

用賀福祉作業所

支援員

石田 正之
(三月三十一日付)

千歳台福祉園

支援員

青木 聡美
(五月三十一日付)

作品名

「ふくろうの団子三兄弟」



編集後記

平成三十年度、せたがや榎の木会は新事務局長を迎え新たな船出となりました。今号では新事務局長、新所長、新副施設長、新たに異動した主任の決意・抱負を紹介させていただきました。この世田谷の地で福祉の未来を作る「熱い思い」を感じてください。

広報委員長 伊能 亮



世田谷区手をつなぐ親の会

知的障害児・者とその家族が、地域で安心して生活できるような社会を作りたいという願いをもって、活動を実施しています。福祉制度やサービスについての研修会や、さまざまな施設の見学会、ホームページの運営による情報発信、区民のみなさん向けに障害理解のための「セータとガーヤの気持ち伝え隊」のキャラバン活動、本人活動「Setagaya アミーゴ」など、いろいろな取り組みを行っております。

ぜひホームページをご覧くださいませ。

編集発行 社会福祉法人せたがや榎の木会

〒155-0033

東京都世田谷区代田1-29-5

TEL 03-5481-1010

FAX 03-5787-4051

E-mail setagaya-kasinokikai@poppy.ocn.ne.jp

URL <http://kashinokikai.net>

かしの木 21号作成時には、喜多見夢工房の方から沢山の作品を提供していただきました。

その中から今号は、5点の作品を掲載させていただきました。

ありがとうございました。